

季節の室礼

季節を盛る 言葉を盛る 心を盛る

「室礼^{しつらい}」とは一年の節目に、また人生の節目節目に“季節を盛る”“言葉を盛る”“心を盛る”ことを言います。行事とは行うことであり、先人の霊を招き、客人を招き、感謝の心を供すること。

その時々季節にあわせて野菜や果物、花などを盛って、もてなしを形にし、心を込めて表します。



卯月（花祭り）

今月の室礼は4月8日のお釈迦様の誕生日をお祝いする法会です。

「仏生会^{ぶつしょうえ}」または「灌仏会^{かんぶつえ}」とも呼ばれています。

花盛りの季節から花祭りとも呼ばれています。

天に向かって真っすぐ伸びる筍^{たけのこ}（地上に芽が出始めのたけのこ）は

別称仏影^{ぶつえい}とと呼ばれお釈迦様の見立てとします。

仏豆^{ぶつとう}（空豆）や独活^{どくわく}（名前にお釈迦様前に関する文字が入っている）、

季節の花などと一緒に盛物としました。

受講の感想

4月の室礼の教室は、お釈迦様の誕生日を祝う花祭りの盛物でした。手のひらに乗るくらいの筍（お釈迦様）を中心に置き、手前に金盞花（花が平等に咲く）や五色の色鮮やかな花、真っすぐに伸びた麦、こてまり（無憂樹にみたくて）いる）、仏豆（空豆）や独活などを周りに盛りました。仏豆と独活の芽が上（天）に向かって生えていて、強い生命力を感じます。だんだん目の前が花祭りの春らしさであふれ、楽しい気持ちになりました。そして最後に甘茶をいただき、皆でお釈迦様の誕生日をお祝いしました。

（熊丸梨奈）



提供：室礼三千（しつらいさんぜん）

東京都杉並区浜田山3-16-5 Tel 03-3304-7020（火～土曜日午前10時～午後5時／日・月曜定休日）●体験教室もあります